

か てい 4.家庭でのルール

まも
ルールを守るものは、
まも
ルールに守られる。



- ルールってだれのためにあるんだろう。
- 子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない。
- テレビやビデオは使いよう。
- 携帯電話やパソコンは使いよう。
- 情報モラルについて家庭で話し合いましょう。
- 子どもを有害な情報から守るために。
- 家事を手伝わせたなら、子どもがしっかりしてきた。
- 子ども部屋を与えるときには、そのルールも与えよう。

ルールって だれのためにあるんだろう。



^こ子どもは、^{かてい}家庭でのルールや^{やくそく}約束を守ったりやぶったりしながら、^{ひと}人との^{かんけい}関係のあり方や^{かた}社会の^{しゃかい}ルールの^{たいせつ}大切さを^{まな}学んでいきます。

^{かてい}家庭のルールには、^{あいさつ}あいさつ、^{いえ}家に^{かえ}帰る^{じかん}時間、^ね寝る^{じかん}時間、^{しせい}きちんとした^{せいかつじょう}姿勢などの^た生活上のルールもあれば、^た他人に^{めいわく}迷惑をかけない、^{どうとくじょう}うそをつかないなどといった^{どうとくじょう}道徳上のルールもあります。

しつけに^{いっかんせい}一貫性をもたせ、^みしっかりと^み身につけさせるためにも、^{かてい}家庭でよく^{そうだん}相談してはっきりしたルールをつくり、^こ子どもとともに^{おや}親もそれを^{まも}守りましょう。また、^こ子どもの^{いけん}意見を^き聞いて^{いっしょ}一緒にルールをつくるという^{しせい}姿勢も^{たい}大切です。

^わ我が^や家の^{せい}生活の^{やくそく}約束事や^{ごと}ルールをつくる

子どもの言うことを何でも聞くことが 親のやさしさとは限らない。



すぐにモノを買い与え過ぎると、子どもは欲しいモノを
手に入れるために努力したり、我慢したり、工夫したりす
ることができなくなります。そして、やたらとモノを欲し
がり、自分の気持ちをおさえられなくなってしまいます。

ブランド品や携帯電話など、友達ももっているからなど
といった理由で簡単に買い与えないようにしましょう。欲
しいと言ったら、なぜそれが必要なのか親子でよく話し
合ってください。

子どものためを思うなら、お金より、こころや愛情を使
い、親子の関係を深めましょう。

子どもに我慢を覚えさせる

テレビやビデオは^{つか}使いよう。

テレビやゲーム、ビデオにばかりのめりこむと、人間^{にんげんかん}関係^{けい}をつくる力が育たないなど、子ども^この健全な心^{けんぜん}の成長^{せいちょう}に影^{かげ}を落としかねません。

極端^{きよくたん}に暴力^{ぼうりよくてき}的な場面^{ばめん}や露骨^{ろこつ}な性描写^{せいびようしゃ}が盛り込まれたもの^もは、親^{おや}の判断^{はんだん}で子ども^こに見せないようにし、それを家庭^{かてい}のルールにしましょう。

例^{たと}えば、ゲームソフト^{えら}を選ぶ時^{とき}には、内容^{ないよう}によって対象^{たいしょう}年齢^{ねんれい}を表示^{ひょうじ}するマークがあるので参考^{さんこう}にするなどが考え^{かんが}られます。

その一方^{いっぽう}で、子ども^こに良いと思^{おも}われる番組^{ばんぐみ}を一緒^{いっしょ}に見るなどして、その内容^{ないよう}を話題^{わだい}にとりあげ子ども^ことのコミュニケーション^{ふか}を深めましょう。

子ども^こが見るテレビやビデオ^みをチェックする

けいたい でん わ ^{つか}携帯電話やパソコンは使いよう。



けいたい でん わ ^{やくだ}携帯電話やインターネットは、役立つこともあれば、^こ子どもの身^みを危険^{きけん}にさらすこともあります。危険^{きけん}な世界^{せかい}と子どもが、^かつながってしまう可能性^{のうせい}があります。

^こ子どもが使^{つか}いたいと言^いってきたときこそチャンス。「なぜ使^{つか}いたいのか」などについて、^{はな}話しあ^{うえ}った上で、^{つか}使^{つか}わないを^き決めましよう。

^{つか}使^{つか}うときには、^{たと}例えば、^{きのう}フィルタリング機能^{せってい}を設定する、^{けいたい でん わ}携帯電話は寝^ねるときに、^へ部屋^やに持^もち込まない、^{よる}夜 10 時^じ以降^{いこう}は使^{つか}わないなどの場所^{ばしょ}や時間^{じかん}、^{つか}使^{つか}ってよい目的^{もくてき}などについて、^こ子どもの成長^{せいちょう}段階^{だんかい}にあ^あったルール^きを決^きめましよう。また、^{こうきょう}マナーモード^しなどの公共^{こう}のマナー^しや、^{ひと}知らない人^{ひと}には^{こじんじょう}個人情報^{こじんじょう}報^{ほう}は教^{おし}えない、^し知らない人^{ひと}とは^あ会^あわないなど、^{きけん}危険^{きけん}から身^みを^{まも}守^{まも}る方法^{ほうほう}について、^{おや}親^{おや}が^{おし}しっか^{おし}り教^{おし}えることが必要^{ひつよう}です。

けいたい でん わ ^{つか}携帯電話やパソコンの^{かた}使い方^{かんが}について考えよう

情報モラルについて 家庭で話し合いましょう。

ウェブやメールなどのインターネットによるコミュニケーションでは、顔の見えない相手とのやり取りになるため、ちょっとしたことが原因でトラブルに発展してしまうことがあります。また、最近では、個人が特定されるような書き込みで誹謗中傷を受けたり、悪口が書かれたメールが送られたりする「ネットいじめ」などの例もあります。顔の見えない者同士のやり取りには、危険がともなうことがあったり、そのつもりはなくても相手を傷つけてしまうおそれがあることなどを日頃から子どもに教えることが大切です。

(家庭でのルール例)

- ・ 食事中や家族が一緒に居るときは使わない
- ・ 自宅内では居間で使う
- ・ 学校への持込については学校のルールに従う
- ・ 他人を傷つけるような使い方をしない
- ・ 知らないところからきたメールは絶対に返信しない
- ・ 知らない人に名前、住所、電話番号、アドレスなどを教えない
- ・ ルール違反や携帯電話の使用によって生活に支障がでた場合には、利用を停止するなど。

こ どもを ゆうがい じょうほう から 守る ために。



インターネット上には子どもにとって有害な情報がたくさんあります。子どもを有害な情報から守るための有効な手段の一つとして「フィルタリング」があげられますが、何より大切なのは、これらの活用と併せて、保護者がインターネットで子どもが何をしているかを見守ることで

※フィルタリング・・・一定の基準に基づき、アダルトサイトや暴力的なサイトなど、青少年にとって不適切と思われるホームページを閲覧できないようにするための技術的手段。

ふ せ けいさつ か わち けいさつ ひら おかけいさつ
～布施警察・河内警察・枚岡警察より～

けいたい でん わ き けん 「携帯電話には危険がいっぱい！！」

子どもに携帯電話を持たせる時は、確実にフィルタリングの申し込みをしてください。子どもが好奇心から有害サイトを見たり、だまされて犯罪の危害に会う危険性が非常に高くなります。スマートフォンの場合は「携帯電話回線」「無線LAN回線」「アプリ」の3つのフィルタリングが必須です。

家事を手伝わせたら、 子どもがしっかりしてきた。



子どもたちの自己中心的な言動や自立の遅れの背景には、自己責任の考え方が身につけていないことがあります。とかく親は子どもを甘やかしがちで「自分のことは自分です」などのしつけがされないことが多いようです。

例えば、年齢に応じておこづかいの額やお手伝いなどの家庭内のルールを決め、子どもの成長に応じて責任と自立をうながしていくことが大事でしょう。「自分の欲しいものを自分のおこづかいで買う」経験は、子どもたちにとってかけがえのないものです。

また、お手伝いは生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ第一歩と言えるでしょう。買い物に行けるようになったり、家の中の整理整頓ができるようになったりしたことを保護者がほめることで、自信にもつながります。

せき にん かん じ りつ しん そだ
責任感や自立心を育てる



本和加家の場合



着きましたよ

980円
です

はい
980円
ね



おつり
もらわ
ないの？

うん
いいよ



せん
千円
お預かりで
20円
おつりね

あー
いいよ！
とっとして



そんなだから
お母さんに
しかられるんだよ
前もおつかいの
おつりをかえさなくて
しかられてたでしょ

そうだよな
お客さん
返しますよ



さやかは
20円ためるの
大変よ
ゴミ出しの
おてつだいすると
10円もらえるん
だけど
朝早いし
重いし

こども部屋を与えるときには、 そのルールもあたえよう。



こどもが部屋に閉じこもると、親の注意が行き届かなくなったり、親子の会話が減ったりします。また、子ども部屋が犯罪の場になってしまう例もあります。

子ども部屋を子どもの成長に役立つようにするには、ルールが必要です。居間に顔を出してから部屋に入る、子ども部屋に鍵をかけない、友人は部屋に入れる前に親に紹介する、親はその責任として必要なときに子ども部屋に入るなど、子どもの様子をしっかりと把握できるように、家庭で子ども部屋のルールづくりをしましょう。